

# らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 129 6月号

2016年6月1日 発行  
たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469  
新宮図書館 TEL(0791)75-3332  
揖保川図書館 TEL(0791)72-7666  
御津図書館 TEL(079)322-1007

<http://www.city.tatsuno.lg.jp/library/index.html>



携帯専用サイトへは、  
左のQRコードから  
(<https://www.lib100.nexs-service.jp/tatsuno-city/mobile/index.do>)

## 読書と私 No.120

### 「老いにも華やぎ」

揖保川町 土井 幸夫

のらくろ世代の私に、揖保川図書館の出現は驚きでした。ゆったり静かな雰囲気<sup>ひな</sup>の館内、目を上げれば播磨灘へと注ぐ大河揖保川、弱視者には大型のルーペ、それに司書の方々の行き届いた対応、こと多い老人にはまたとない憩いの場所、失礼な申しようですが、かく鄙里<sup>しんじん</sup>にこのような立派な場所があるとは正に驚き、企画された方々の慧眼<sup>けいがん</sup>に深甚の敬意を表します。ついでにもう一つ申し上げると、このゆとりある空間を設計された方、その前にそうした要望を設計者に出された方にお手柄でしたねと労いの言葉をかけて差し上げたい。ちなみにコンビニを見て下さい。商業施設ではこのようなゆとり感はありませんね。経済重視の世の中に、それとは違った観点で物事を推し進めるのは簡単ではありません。企画された方の遠くまで見通されたお考えがあつて初めて実現したことでしょう。たつの市民はその点幸せ、未来を背負う児童らへの好影響は計り知れません。

さて、私の実体験を紹介しましょう。

①新聞の紹介記事から読みたくなる本が出て来るものですね。当館にないものが多いですが、お願いすると他所の図書館から取り寄せていただけます。たまたまある一冊は国会図書館にもないとのことでした。ところが後日、新刊紹介棚にそれが並んでいるではありませんか。見失った恋人と出会えたのです。気にかけていて下さったのですね。最敬礼します。

②好きな曲のピアノ伴奏付き楽譜をお願いしたところ、何とその辺りの一連の歌を網羅した全集を一冊残らず取り寄せて下さっていたのです。言葉ではなく意図<sup>しゅうえん</sup>で聞けという<sup>ことわざ</sup>諺のお手本のような対応に頭が下がりました。太陽の終焉、作詞のイロハや現代詩の傾向などをお願いした時も同様でした。

素晴らしい建物、優れた司書諸兄姉、お蔭で華やいだ老いの日々が続きます。

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『滅びゆく日本の方言』 佐藤 亮一 著 新日本出版社



方言とは、それぞれの地域に生まれた人が、同じ地域の親しい人と話すときのことばで、それを使う人々の間で共同体意識が生まれる。戦前までは共通語を使う人が少なかったが、現代は古いも若きも方言と共通語を使い分けている。本書は長年にわたり調査研究に携わってきた日本語研究者の著者が、明治から昭和初期まで使われていた多様な方言をテーマ別に紹介している。

「しあさって」は何日目？千葉県と東京都区内の人が「しあさってに会いましょう」と約束しても出会えない。東京都区内を除く関東地方の大部分で「あさっての翌々日」を指す。「あさ

っての翌日」は「やのあさって」という。上方の「しあさって」が江戸に入り伝播していく際に関東地方で意味がずれていったのである。

方言は、政治・文化の中心から波紋のように周囲に広がっていく。すなわち奈良や京都で生まれ、地方で独自の変化をとげていくのである。平安時代に京都で使われていた「ツララ（氷柱）」を意味する「タルヒ（垂氷）」は、タルヒ・タロッペ（東北）、タルキ・タンタルキ（北陸）、タロミ・タロヨン（九州）のように日本の周辺地域に残っている。地方への伝播は年速1キロ、京都から青森までは1000年以上もかかる。

方言の分布、由来、誕生の順序、日本語の歴史との関係を知ることで、日本語の面白さや奥深さを感じとることができる。

（龍野図書館 石井）

トピックス

6月イベントのお知らせ

※申込、問い合わせは各図書館まで

**ピippiが図書館にやってきました！**

『長くつ下のピippi』が出版されてから70年を記念して、スウェーデン政府が作成した児童文学のキャラクターが描かれたパネルを展示し、講演会を行います。

《パネル展示》

『長くつ下のピippi』など、パネル8点のほか、原書や関連書籍の展示を入口フロアで行います。

☆ 揖保川図書館 ☆  
6月1日(水)～15日(水)

★ 新宮図書館 ★  
6月17日(金)～29日(水)



Photo: Ingrid Vang Nyman/Saltkråkan

《講演会》

スウェーデン語での絵本の読み聞かせ、『長くつ下のピippi』の作者リンドグレーンの紹介や肉声の読み聞かせCDの視聴、写真を交えてスウェーデンの暮らしをお話します。

【講師】横野 菜々 【対象】一般（中学生以上） 【定員】各40名（各館へ申込 先着順）

☆ 揖保川図書館 ☆  
【日時】6月12日(日)10時～11時30分  
【場所】アクアホール3階 研修室

★ 新宮図書館 ★  
【日時】6月19日(日)10時30分～11時30分  
【場所】新宮図書館 研修室

## おすすめする子どもの本・119

### 『ジャイアント・ジャム・サンド』

ジョン・ヴァーノン・ロード ぶん／え 安西 徹雄 やく アリス館

蒸し暑い夏のこと、田舎の村にハチの大群が飛んできて、ピクニックはめちゃくちゃ、お百姓さんも逃げ出すなど、ハチの被害が続出し、どうにもこうにも、たまらない状況になってしまいました。

村人たちは集まって対策を練りますが、なかなかいい案が出てきません。「いったいこのハチどうすりゃいいのか。」その時パン屋のおじさんが、「ハチが いちばんすきな の なんだ？イチゴのジャムだ だとすると…」と発言し、大きなサンドイッチを作って罠にしてはどうかと提案します。みんなは大賛成して、村をあげての巨大サンドイッチ作りが始まります。

50台のオーブンで大きなパンを焼き上げ、バターやジャムはダンプに積んできて、トラクターとスコップでパンに塗ります。すると空がうなりだし、400万匹のハチの群れがジャムパンに食いつきました。「そ

れいまだ！」6台のヘリコプターがもう1枚のパンを空から落とします。できあがったジャイアント・ジャム・ハチ・サンドは鳥たちが村から持ち去って、作戦は大成功！

村人たちが一致団結して取り組む巨大パン作りから、ハチの捕獲までの様子が七五調の文章でテンポよく語られ、色彩に富んだ絵でコミカルに描かれています。読んであげるなら5歳くらいから。

(新宮図書館 勝谷)

### 『さすらいの孤児ラスムス』

アストリッド・リンドグレン作 尾崎 義 訳 岩波書店

孤児の家にいる9歳のラスムスは、先生に洗面器の水をかけてしまった上に悪口を言ったため、先生からのムチのおしおきがこわくてたまらず、孤児の家から抜け出します。

夜中 歩いてうすぎたない納屋で眠った後、出会ったのは、黒いひげづらをした風来坊のオスカルでした。オスカルは農家のお勝手を訪れ、薪割りをしたり、アコーデ

ィオンの弾き語りをしてしながら、自由に食べ、眠り、歩く放浪の暮らしをしていました。ひもじいラスムスにオスカルはハムサンドを分けてくれ、疲れて足の遅いラスムスに

あわせて歩きます。ラスムスは、自分をもらってくれるいい人を探す間、オスカルと一緒に連れて行ってほしいと頼みます。

さて、同じ頃、近くでおこった2人組の覆面強盗の捜査が必死でなされていました。オスカルは、よく訪れるおばあさんの家で、男物の靴がカーテンの下からのぞいていたことから強盗が隠れていることをみてとり、警察に手紙で知らせます。

思わぬ場所に隠してあった強盗のお金を取り返したり、強盗がつかまるまでの2人にふりかかる危険は、どんでんがえしの連続でハラハラさせられます。また、ラスムスとオスカルが一緒にいるうちに、離ればなれになれない絆ができ共に暮らす結末に温かい余韻を残します。11歳くらいから。

(揖保川図書館 大西)



# 各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

| 館名                             | 行事        | 対象(上段)・時間(下段)   | 6月の予定                           |
|--------------------------------|-----------|---|---------------------------------|
| 龍野図書館<br>TEL(0791)<br>62-0469  | ●えほんのじかん  | 1～3歳児、保護者<br>第2・第3土曜日(11時～11時20分)                       | 11日・18日<br>『かささしてあげるね』他         |
|                                | 子どもの本を読む会 | 一般<br>第2木曜日(10時～11時30分)                                 | 9日<br>『チポリーノの冒険』ジャンニ・ロダーリ 著     |
|                                | 読書会       | 一般<br>第2金曜日(10時～11時30分)                                 | 10日<br>『代表的日本人』内村 鑑三 著          |
| 新宮図書館<br>TEL(0791)<br>75-3332  | ●えほんのじかん  | 2～4歳児、保護者<br>第2月曜日、第4日・月曜日(11時～11時20分)                  | 13日・26日・27日<br>『ぼくのながぐつ』他       |
|                                | ■おはなしのじかん | 5歳児～<br>第1・第2土曜日(10時30分～11時10分)<br>第4土曜日(10時15分～10時45分) | 4日・11日・25日<br>『こんにちは、長くつ下のピッピ』他 |
|                                | 小学校4年生～一般 | 第3土曜日(10時30分～11時)                                       | 18日<br>「夜中の指紋とり」                |
| 揖保川図書館<br>TEL(0791)<br>72-7666 | ●えほんのじかん  | 2～4歳児、保護者<br>第1・第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)                 | 4日・11日・18日<br>『ぞうくんのあめふりさんぽ』他   |
|                                | ■おはなしのじかん | 5歳児～<br>第1・第2・第3土曜日(11時～11時30分)                         | 4日・11日・18日<br>「かにかに、こそこそ」他      |
|                                | 読書会       | 一般<br>第3金曜日(10時～12時)                                    | 17日<br>『あい』高田 郁 著               |
| 御津図書館<br>TEL(079)<br>322-1007  | ●えほんのじかん  | 1歳～4歳児、保護者<br>第2・3日曜日(11時～11時20分)                       | 12日・19日<br>『コッコさんとあめふり』他        |
|                                |           | 5歳児～<br>第2・3日曜日(11時30分～11時50分)                          | 12日・19日<br>『ふしぎなたいこ』他           |
|                                | 読書会       | 一般<br>第3水曜日(13時30分～15時30分)                              | 15日<br>『風の遺産』新田 次郎 著            |
|                                | 古文書を読む会   | 一般<br>第2土曜日(13時30分～15時30分)                              | 11日<br>古文書の解説                   |